

## 1 題材名 曲想を味わおう

教材名 鑑賞「威風堂々第1番」 エルガー作曲

表現「威風堂々」エルガー作曲／長谷川匡俊編曲

## 2 題材について

本題材は、楽曲全体を見通して、思いや意図をもって表現できる能力を育てるために、曲想とその変化を感じ取って聴くことをねらいとしている。また中学校での、中学校学習指導要領 B 鑑賞（1）ア音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのここわりを理解して聴き、根拠を持って批評する…の学習につながるものである。中学校で、言葉で批評する学習では、楽曲の「この部分」という明確なものを聴きとれていることが前提であると考え。小学校の高学年に入った時期の児童に、曲想がどんな要素でできているのか、曲想が変化したのはどのポイントだったのかを明確にし、音楽を聴く喜びをより深める機会にしたい。

曲想の変化を聴きとる力が身に付けば、楽曲全体が、どんな構造になっているかに興味を持つきっかけになるであろう。また、表現活動においても楽曲全体を見通して、思いや意図をもって表現したい気持ちが高まるだろうと考える。

## 3 題材の目標

- ・曲想とその変化を感じ取って聴く。
- ・自分たちの思いや意図をもって、強弱や速さ、音色などを工夫し、表現の仕方を工夫して演奏する。

## 4 研究の視点について

**視点1 9年間を見据えた学び方の共有**

## ○音楽を表す言葉集の活用

児童に、あらかじめ「音楽をあらわす言葉の例」を持たせて学習する。小学校高学年に入る時期に、楽曲を聴いて曲想を感じ取って、言葉に表すことを習慣化し、曲想を表す言葉の語彙を増やしてことで、中学校での言葉で批評する活動をより豊かにしていきたい。

## ○構造図の活用

音楽の流れ全体を構造図に表し、児童が聴き取ったこと、気付いたことなどを記入する。これらを活用して思考過程を可視化し、楽曲のよさや面白さを「音楽を形づくっている要素」とそれらの関わり合いにより生み出されることに気付かせ、中学校ではさらに深く聴き取るようにしていきたい。

## ○ワークシートの活用

音楽を聴いて音楽を形づくっている要素との関わり合いについて、自分の意見を話すときに、いろいろな表現方法があるが、体の動きを使う方法も有効である。そのときに、なぜそう動きたくなったかを、「音楽をつくっている要素」と関連付けて書くようにする。5年生の児童は、曲想という言葉に初めて出会うので、曲想を表す語彙を増やすヒントにする。

6 題材の指導計画（5時間計画）

次	時	○学習内容・主な学習内容	評価規準
第1次		ねらい 曲想の移り変わりを感じ取って聴く。	
	第1時	○「威風堂々第1番」がどのような曲なのかをとらえる。 ・イの部分で階名で歌い、リズムや音の高さなどを確認する ・通して聴いて、アとイの曲想の違いをワークシートにまとめる。	「威風堂々第1番」の鑑賞から、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって、歌ったり、演奏したりする活動に主体的に取り組んでいる。(音楽への関心・意欲・態度①)
	第2時 〔本時〕	○曲想が移り変わる面白さを感じ取って「威風堂々第1番」全体を聴く。 ・イギリスのプロムナードコンサートの演奏を映像つきで鑑賞して、曲想の移り変わりを感じ取る。 ・アとイが繰り返されながら変化していく様子を体の動きを付けながら聴く。	・アとイが繰り返されること、イの強弱、速度、音の上がり下がり、リズム、音色等が変化していくことなど、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴いている。(鑑賞の能力①)
第2次		ねらい 曲想にふさわしくなるよう演奏の仕方を工夫する。	
	第3時	○「威風堂々」イの主な旋律を楽器で演奏する。 ・原語で歌ったり、楽器で演奏したりして主旋律に親しむ。 ・パートを決めて、各パートの練習をする。	・臨時記号に気を付けて、拍の流れに乗って演奏している。(音楽表現の技術①)
	第4時	○イの部分を曲想の良さを味わって合奏する。 ・イの部分をオーケストラの演奏で聴いてみる。 ・強弱・速度・楽器の組み合わせ、繰り返しなどを工夫して練習する	・リズムや旋律の重なり、反復や変化を味わいながら楽器を演奏している。(音楽表現の技術①) ・曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏したいか自分の考えを持っている。(音楽表現の創意工夫①)
第5時	○工夫したことが伝わるように演奏する。 ・工夫したことを明確にして演奏する。 ・イの部分をもう一度オーケストラの演奏で聴いてみる。 ・この曲の紹介文を書き、発表しあう。	・曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏したいか自分の考えを持っている。(音楽表現の創意工夫①)	

7 本時の学習（2 / 5）

（1）目標

曲想の移り変わりを感じ取って聴く。

（2）展開

学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準〈評価方法〉
<p>1 威風堂々のイの部分のリコーダーで演奏する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○1 かっこ 2 かっこの演奏順番を拡大楽譜で示す。</p>
<p>「威風堂々第1番」を、曲想が移り変わっていく様子に気をつけて聴こう</p>	
<p>3 楽曲の構造に気をつけて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アとイの主な旋律の感じをつかむ。</li> <li>・曲の感じが変わるところで挙手をする。</li> <li>・曲全体を聴き、アとイの主な旋律がどのように出てくるかを考える。</li> </ul> <p>4 ・イギリスのプロムナードコンサートの演奏を鑑賞する。</p> <p>5 曲想に気をつけて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強弱・速さ・音の上がり下がり・リズム、音色などの音楽を形づくっている要素に気をつけて聞くようにする。</li> <li>・曲想の変化を感じ取りながら聴く。</li> </ul> <p>&lt;予想される児童の動き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アははずんだ感じで指揮をする。</li> <li>・イはなめらかな感じで指揮をする。</li> <li>・音が強い時に大きく指揮をする。</li> <li>・音が小さい時は小さくやさしい感じで指揮をする。</li> </ul>	<p>○アのはずんだ感じや、イのなめらかな感じをピアノで弾いて示し、口ずさんだりリズム打ちをしたりしながら感じ取らせるようにする。</p> <p>○曲の感じが変わる5ヶ所で挙手できているかを確認する。</p> <p>○いろいろな音楽の要素に着目するように伝え、楽曲の構造にも気づけるようにする。</p> <p>○聴衆の体の動きに注目するように示す。</p> <p>○曲想について、P26「曲想」を読み、確認する。</p> <p>○それぞれの要素に着目して聴けるように、強弱、速さ、音の上がり下がり、リズムなどのカードを掲示しておく。</p> <p>○2拍子の指揮をしたり、体を動かしたりして、曲想の変化を感じ取らせるようにする。</p> <p>○1回目と2回目のイの部分の違いに気をつけて聞くように助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆アとイが繰り返されること、イの強弱、速度、音の上がり下がり、リズム、音色等が変化していくことなど、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴いている。(鑑賞の能力①)〈ワークシート・発言〉</p> </div>
<p>6 わかったこと・気が付いたことをワークシートに記入する。</p>	<p>○意見を発表できる場を設定する。</p>